

UEDA SHINKIN BANK DISCLOSURE

# REPORT 2022.09

～上田信用金庫の近況(半期)報告～



## 経営理念

人とのふれあいを大切にし  
地域の繁栄に貢献する

## 経営方針

1. 顧客とのふれあいを通じ、地元の金融機関として特化浸透を図る。
2. 知性と感性をみがいて、常に自己革新し、行動力の発揮により、多様化する顧客ニーズに対応する。
3. コミュニケーションとチームワークの強化により、打てば響く職場風土を醸成する。
4. 組織に弾力性と柔軟性をもたせ、環境の変化に対応する。
5. 健全経営により、適正な利益を確保し、会員・地域への還元と職員の裕かな生活環境の確立を目指す。



おかげさまで 創立100年

上田信用金庫

# 2022年度上半期 業績ハイライト

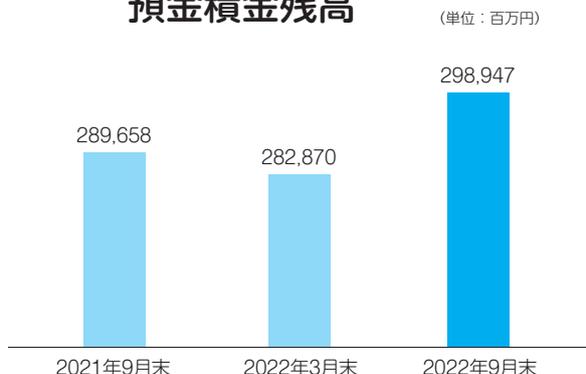
※本資料の記載金額は単位未満を切り捨てて表示してあります。

## 預金積金・貸出金の状況

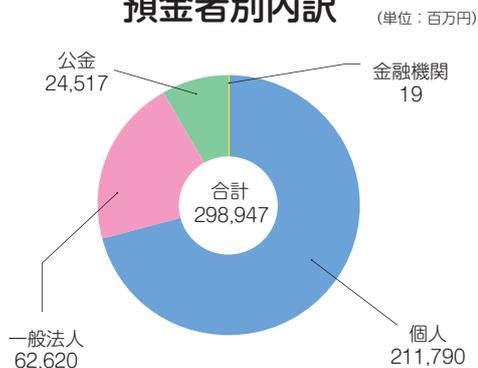
預金積金残高は、2022年3月末比で160億76百万円増加し、2,989億47百万円となりました。内訳は、個人預金が15億39百万円、一般法人預金が14億15百万円、公金等預金が131億21百万円それぞれ増加しました。

貸出金残高は、2022年3月末比で3億99百万円増加し、1,491億97百万円となりました。内訳は、個人が住宅資金を中心に5億15百万円、地方公共団体が7億23百万円それぞれ増加した一方、事業者向けは8億38百万円減少しました。

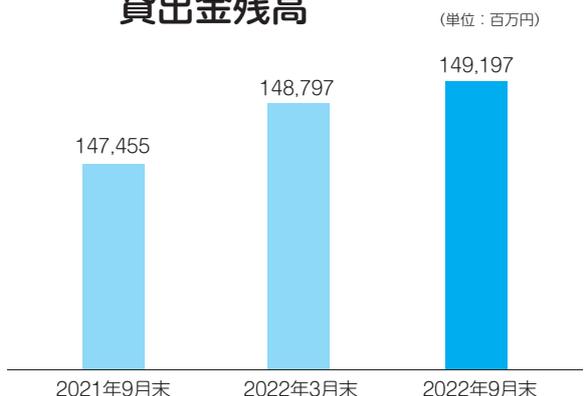
### 預金積金残高



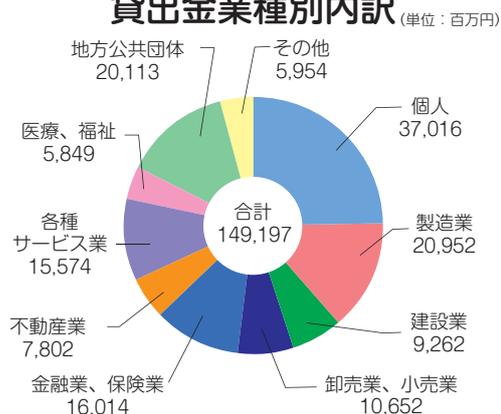
### 預金者別内訳



### 貸出金残高



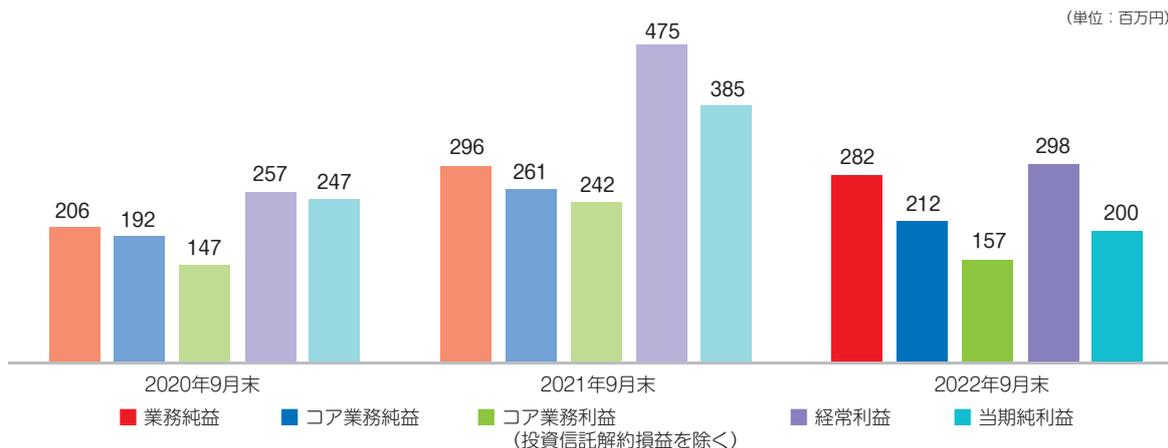
### 貸出金業種別内訳



## 損益等の状況

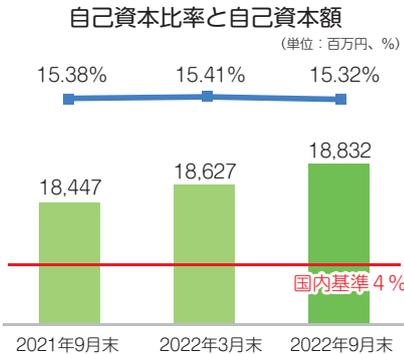
金融機関本来の事業活動のみの利益を示すコア業務純益は、各種利回りの低下による貸出金利息、有価証券利息配当金の減少などにより、2021年9月末比で48百万円減少し2億12百万円となりました。

また、国債・株式等債券損益の悪化などにより、経常利益は2021年9月末比で1億76百万円減少し2億98百万円、当期純利益は税金費用の増加により1億84百万円減少し2億円となりました。



## 自己資本比率の状況

自己資本比率は金融機関の健全性を示す指標で、比率が高いほど経営がより健全であることを示しています。2022年9月末の自己資本比率は15.32%であり、国内基準の4%を大幅に上回っています。



(単位：百万円)

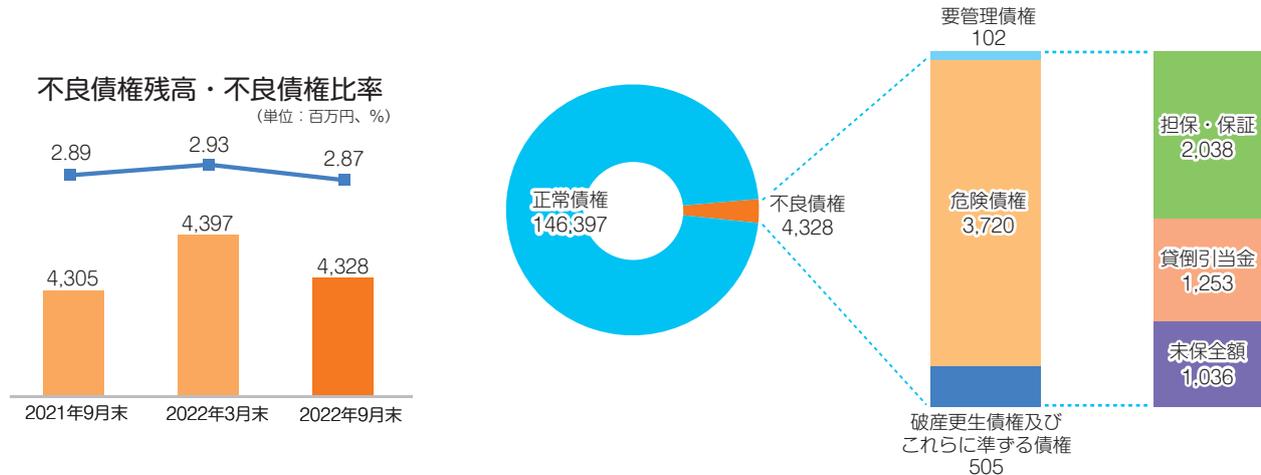
項目	2022年3月末	2022年9月末
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	18,762	18,959
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	135	126
自己資本の額 ((イ)-(ロ)) (ハ)	18,627	18,832
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	120,870	122,923
自己資本比率 ((ハ) / (ニ))	15.41%	15.32%

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しています。  
なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しています。

## 不良債権の状況

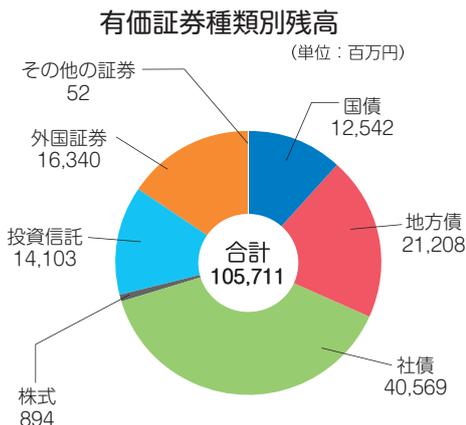
不良債権とは利息や元金が返済されなくなる可能性の高い貸出金等のことをいいます。

金融再生法に基づく不良債権額は2022年3月末比で69百万円減少し43億28百万円で、不良債権比率も0.06ポイント低下し2.87%となりました。この不良債権額のうち、担保や保証、貸倒引当金により32億91百万円は保全されており、保全されていない10億36百万円は特別積立金171億円で十分にカバーされており、不良債権への対応には万全を期しています。



## 有価証券の状況

有価証券残高は1,057億11百万円となりました。



(単位：百万円)

		2022年3月末			2022年9月末		
		簿価	時価	差額	簿価	時価	差額
その他 有価証券	株式	864	929	64	917	894	△ 22
	債券	72,513	72,414	△ 99	75,181	74,320	△ 860
	その他	29,979	29,549	△ 430	32,146	30,495	△ 1,650
	小計	103,358	102,893	△ 465	108,245	105,711	△ 2,533
合計		103,358	102,893	△ 465	108,245	105,711	△ 2,533

(注) 1. 時価のあるものについては市場価格等に基づき、時価のないものについては帳簿価格等によって記載しています。  
2. 差額は、2022年9月末時点の帳簿価額(償却原価法適用後)と時価との差額を計上しています。  
3. 「その他」は、外国証券、投資信託及びその他の証券です。  
4. 満期保有目的の有価証券はございません。

# 2022年度上半期トピックス

## 宇和島信用金庫と「業務協定に関する覚書」を締結しました

8月26日(金)

取引先の販路拡大やビジネスマッチングの機会創出、地方創生への寄与などを目的として、宇和島信用金庫(愛媛県)と「業務提携に関する覚書」を締結しました。



## INPIT 長野県知財総合支援窓口と包括連携協定を締結しました

9月28日(水)

取引先企業の知的財産の活用に取り組むことで地域経済の活性化と地域活力の創出を目指すことを目的に、INPIT(独立行政法人工業所有権情報・研修館)長野県知財総合支援窓口と包括連携協定を締結しました。



### 4月 交通安全「黄色いハンカチ」の贈呈

地域の新入学児童全員に「交通安全黄色いハンカチ(交通傷害保険付)」を贈呈しました。

### 6月 長野県上田千曲高等学校への出前授業を実施

定期的に行っている出前授業をWebで実施しました。今回はビジネスマナーを研修テーマとし、名刺の渡し方などについて講義を行いました。

### 7月 地方副業プラットフォーム「Loino」の運用開始

事業の成長・発展に向けて、知見・ノウハウを有する人材を求める中小企業と、専門知識や技術、経験を活かし副業を希望する人材を結ぶマッチングプラットフォーム「Loino(ロイノ)」のサービス運用を開始しました。

## 献血活動

6月22日(水)

信用金庫の日にちなみ、当金庫役職員26名が献血活動に参加しました。



1922年(大正11年)12月2日  
有限責任上田市信用組合 設立

100th anniversary

2022年12月2日に創立100年を迎えます。

100年分の「感謝」を心に刻み  
いつまでも頼られる存在であり続けるため  
お客さまに寄り添い  
お客さま・地域社会との信頼関係を  
構築してまいります。

引き続き変わらぬご愛顧とご支援を  
お願い申し上げます。

## 塩田支店、2022年12月に移転オープン

塩田支店は、2022年12月9日(金)をもちまして現店舗での営業を終了し、12月12日(月)より現店舗の北約100mの場所に新築移転し、新たに営業させていただくこととなりました。新店舗は環境負荷軽減のため、太陽光発電設備を導入しております。

新店舗：上田市本郷774番地9



(完成イメージ)

## 当金庫の概要 (2022年9月30日現在)

- 本店所在地 : 上田市材木町一丁目17番12号
- 創立 : 1922年(大正11年)12月2日
- 会員数 : 19,994名
- 出資金 : 7億18百万円
- 預金積金 : 2,989億47百万円
- 貸出金 : 1,491億97百万円
- 常勤役員数 : 230名
- 店舗数 : 23店舗

 上田信用金庫

<http://www.ueda-shinkin.jp/>

編集・発行 上田信用金庫 総合企画部  
TEL.0268-22-6260

